

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	主要穀類競争力向上推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課				
		実施期間	S53 ～	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

米・麦・大豆及びそば等の土地利用型作物については、営農の継続が可能な所得の確保・向上とあわせ、需要に応じた生産や品質の確保・向上が実需者から求められており、生産者団体等関係機関と連携した産地づくりを図る必要がある。
また、主要農作物種子については、施設整備支援等による安定的な種子供給体制の整備が求められており、「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に沿った種子生産技術の向上を図る必要がある。

2 事業目的

米については、需要に応じた米の適正生産に引き続き取り組むとともに、農産物検査に基づく全国トップクラスの1等米比率や長野県産米の強みである高品質の維持、輸出用米の取組拡大等の新たな米の需要創出を図る。麦・大豆・そばについては国内需要が高まっていることから、安定生産・品質向上並びに産地づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進

- ・水稻「風さやか」の品質向上やブランド化に向けたイベントの開催、PR
- ・酒造好適米「山恵錦」の既存品種からの転換による生産拡大と栽培適地での産地化推進
- ・麦、大豆における実需者ニーズに即したオリジナル品種の推進やそれを契機とした産地力強化
- ・信州ひすいそばの生産拡大に取り組む地域の産地化支援
- ・県産小麦の品質向上と生産拡大を図るため、実需者ニーズに応じた品質の小麦を生産した農業者を支援
- ・地域計画に基づく地域農業の将来像の実現に向け、ライスセンターや乾燥調製施設等、共同利用施設の再編集集約・合理化を支援

②主要農作物の種子生産者に対する支援等

種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の確保・育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備

③水田農業の体質強化の支援

- ・水田を活用し、需要の見込める品目の導入・拡大による、主食用米需要の減少化においても稼げる産地づくりを推進
- ・主食用米の国内需要が減少する中、海外需要に目を向け、輸出用米等へ転換する取組を支援

4 成果指標

（推移の凡例：↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	主要農作物のオリジナル品種の栽培面積	ha	3,088	4,060	↗	4,140	↗	4,300	未達成	オリジナル品種の拡大状況を評価できるため
②	主要農作物種子の生産計画達成率	%	103	104	↗	98	↘	100	未達成	種子産地、及び種子管理団体の生産実績を評価できるため ※R6年度当初予算案のシートに記載したR4年度実績が誤っていたため修正しました。（修正前：95、修正後：103）
③	水田への高収益作物などの作付面積	ha	11,278	11,969	↗	11,210	↘	12,055	未達成	主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への高収益作物などの作付け誘導により、水田の利活用状況について評価できるため ※R6年度当初予算案、R6年度事業点検及びR6年度1月補正予算シートに記載したR4実績が誤っていたため修正しました（修正前：11,506、修正後：11,278）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (概算計画)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R6年度	346,075	1,046,864	409,321	1,802,260	25,239	602,567	6.0
R5年度	1,567,340	572,523	116,901	2,256,764	28,464	1,732,016	6.0
R4年度	1,320,828	1,251,176	△ 274,969	2,297,035	29,500	593,133	6.0

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	主要穀類競争力向上推進事業			部局	農政部	課・室	農業技術課	

7 主な取組実績と成果

①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進

- ・水稻「風さやか」のモデル実証ほ（1箇所）を設置して品質向上対策を推進
- ・12月に「風さやか」食味コンテストを開催したほか、作付推進チラシを配布
- ・JA技術員及び普及指導員を対象とした麦・大豆・そば生産拡大・品質向上研修会を開催（麦作検討会1回、研修会1回・延べ251名）
- ・県オリジナル品種（米・麦・そば・大豆）の作付面積が前年度から約2%増加（R5：4,060ha⇒R6：4,140ha）
- ・実需者ニーズに応じた品質の小麦を支援（R5：2,490t、R6：4,741t）
- ・農業用機械・施設等の整備、共同利用施設の再編集約・合理化を支援（施設整備1か所、機械のリース導入4か所）

②主要農作物の種子生産者に対する支援等

- ・主要農作物（水稻、麦類、大豆、そば）の優良種子生産を推進するため、JA技術員及び普及指導員を対象とした研修会を開催（1回）

③水田農業の体質強化の支援

- ・主食用米の需要減少化においても水田を活用した産地づくりを推進するため、水田農業経営確立推進指導事業等により、需要の見込める品目の導入・拡大を支援。
- ・これにより、加工用米の作付面積は前年度から約3%（R5：733ha⇒R6：756ha）、新市場開拓に向けた、輸出用米の作付面積は前年度から約21%増加した（R5：245ha⇒R6：297ha）
- ・地域計画の策定に併せて畑作物の本作化や輪作・ブロックローテーション体制の構築を推進するため、水田活用指導マニュアルを作成して支援センターへ配布した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	主要農作物のオリジナル品種の栽培面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
作付面積は増加したものの、実需者ニーズに対応するための品種転換などにより、目標値には届かなかった。							
指標②	主要農作物種子の生産計画達成率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
優良種子生産を推進するための研修会を開催したものの、病害虫の発生や気象要因によって収穫量が低下し、目標値には届かなかった。							
指標③	水田への高収益作物などの作付面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
輸出用米・加工用米の取組面積は増加したものの、主食用米の需要の拡大及び米価の高値推移を受けて飼料用米や備蓄米の作付面積が減少したため、目標の作付面積には届かなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・人口減少・食の多様化等により、長期的に見れば主食用米の需要は減少傾向にある。しかし、コロナ禍による消費の抑制から一転して、令和5年産米の需要実績は十年ぶりの増加となり、米価が上昇した。背景として、食料品の価格が全体的に上昇する中でのコメの相対的な値頃感やインバウンド（訪日外国人客）等の人流増加等の影響が考えられる。資材価格の高止まりや流通の目詰まり等により、令和6年産米についても米価の高騰が続いており、価格・供給の安定化と需要に応じた品質の高い主食用米生産が求められている。
- ・主食用米の作付意欲が高まったことで、麦・大豆・そばは相対的に作付意欲が低下傾向にあるが、実需から求められる質・量に達していないため、生産性向上が必要である。
- ・主食用米の種子産地では、後継者の確保・育成と施設の老朽化が課題となっている。

(2) 事業改善の方策

- ・主食用米について、需要に応じた生産量を確保できるよう、施設整備・機械導入を支援するとともに、生産技術を指導する。また、国内需要量が再び減少に転じて適正な米価を維持するとともに、県産米の新たな需要を創出するため、米の輸出に係る取組を支援する。
- ・麦・大豆については、需要に応じた品種構成や基本技術の再徹底による品質向上を図るとともに、農地の有効活用、食料自給率向上等の観点から、増産を推進する。
- ・「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に基づき、「種子場産地強化計画」の策定を進め、技術継承や施設更新について計画的な支援を行う。

事業番号	09 03 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	主要穀類競争力向上推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業		283,643 千円	1,494,782 千円	367,059 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	穀物生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	・意欲ある農業者等が穀物産地の営農戦略に基づく収益力強化の取組に必要な農業用機械・施設等の整備を総合的に支援 ・地域計画に基づく地域農業の将来像の実現に向け、ライスセンターや乾燥調製施設等、共同利用施設の再編集約・合理化を支援（翌年度に繰越実施） 施設整備1か所、機械のリース導入4か所		
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 研修会3回（米1、麦1、総合1）		
3	農産物検査に関する業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入調査の実施 登録更新17件、立入調査12機関		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業		3,467 千円	3,930 千円	3,603 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県オリジナル品種（米）の普及促進	補助金 直接	・県オリジナル米「風さやか」の品質向上、栽培技術向上及びブランド化に向けたイベントの開催、PR活動の実施 「風さやか」生産面積 1,789ha		
2	小麦、大豆の産地育成の推進	直接	・実需者ニーズに即した産地別の品種作付誘導の推進 ・品種転換を契機にした排水対策技術導入等による産地力強化 ・生産の集約化等による効率栽培の推進 品種転換を契機にした排水対策技術導入等による産地力強化（7産地）		
3	信州ひすいそばの産地化支援	直接	・ブランド力向上に向けたPRを実施 そば長野S11号（信州ひすいそば）の生産面積 88ha		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	種子対策事業		14,595 千円	12,589 千円	10,170 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	主要農作物の種子生産者に対する支援	補助金	・種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備 補助件数0件（年度途中まで機械導入が1件検討されたが、次年度へ再検討となった）		
2	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施 奨励品種決定審査ほ場の設置20か所（米10、麦4、大豆3、そば3）		
3	原種センターへの支援	補助金	・主要農作物種子（米、麦、大豆、そば）の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援 人件費補助3名分及び種子備蓄経費等を支援		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	経営所得安定対策等推進事業		283,914 千円	199,718 千円	190,828 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目安値の通知、申請書の配布、回収、実績確認等 ・主食用米以外への転換の推進 補助金交付60か所、補助金額190,180千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	主要穀類経営確立推進指導事業		5,584 千円	6,055 千円	2,462 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	主要穀類生産者の経営体質強化支援	直接	・地域計画策定と連動した水田活用の検討支援 ・麦・大豆・そばの産地力強化のための実証ほ場の設置やブロックローテーションの推進を支援 補助件数3件、補助金額 640千円		
2	水田農業の体質強化に係る推進	補助金	・需要に応じた生産のため、県が推進を図る品目（大豆、飼料用米等）への転換を支援 補助件数1件（大豆の作付転換）、補助金額 700千円		
3	輸出用米の産地づくり支援	補助金	・地域農業再生協議会、農業者、輸出事業者が連携して輸出用米の産地づくりを図る地域に対して、輸出用米の取組拡大に係る経費を支援 取組拡大面積 21ha（R5→R6）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	県産小麦品質向上・生産拡大支援事業		0 千円	14,942 千円	28,445 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	実需者ニーズに応じた品質の小麦の生産を支援	補助金	・県産小麦の品質向上と生産拡大を図るため、実需者ニーズに応じた品質の小麦を生産した農業者を支援する（R6.1補正分は繰越実施） ・実需者ニーズに応じた品質を満たす小麦の生産量 4,741t（R6年産）R5→R6繰越		